

「東海大学留学生とのサイエンスな交流」を実施しました

令和7年12月11日（木）の午後1時30分に、東海大学サイエンス・エンジニアリングカレッジオフィスのご協力のもと「東海大学留学生とのサイエンスな交流」を実施しました。

この交流会は、2年生が理数探究の授業で行っている研究について英語で発表を行い、東海大学で学ぶ留学生から質問や助言をもらうものです。12月は中間発表を行い、3月に最終発表を行います。

今年度は、理系の研究グループ2班と文系の研究グループ1班が参加しました。各グループの研究テーマは以下の通りです。



1. 「各時間帯における香りの一過性気分変化への影響の分析」

“Analysis of the Effect of Fragrance on Transient Mood Changes During Each Time Period”

2. 「パラボラ反射板を用いた音力発電による発電効率の影響の分析」

“Efficiency Analysis of Acoustic Power Generation with Parabolic Reflectors”

3. 「生（なま）」という言葉が食物に与える効果」

“Verification of acceptable levels and appeal of “Raw” diets through hearing surveys and component analysis”

各発表後に英語で質問を受けたり、助言をいただいたりしました。質問によっては英語で答えるのが難しいという場面もありましたが、発表生徒たちは一生懸命英語で答えようとしていました。

すべての発表が終了した後、東海大学の先生によるナノテクノロジーに関する講義を聞きました。ナノの世界の写真もたくさん見せていただき、たいへん勉強になりました。

その後、東海大学の研究施設を見学させていただきました。生徒たちは、施設・設備の説明を聞いた後、実際に見たりして、「とても楽しかった」と感想を述べていました。

東海大学からの帰路では、「質問にどう答えたらよかったか」「英語でどう表現すればよかったか」などを話し合っている様子が見られ、3月の最終発表では、内容・英語力の両面で成長した姿が見られることを期待しています。

